

【生団連通信 Vol.29】

令和2年度 第2次補正予算の概要について

政府は昨日に新型コロナウイルスの感染拡大を受けた【2020年度第2次補正予算】を閣議決定しました。本日はその概要をお知らせいたします。詳細は添付資料をご確認ください。財務省データをベースとしておりますが、まだ全てが公開されていないため、一部推定値となっております。ご了承ください。

第2次補正予算は、事業規模117.1兆円、うち、真水と呼ばれる国費は33.2兆円という大規模な予算編成となります。生団連においても強力な追加経済対策をと政府宛に要望してきましたが、4月30日成立の第1次補正予算に続けての大規模な措置は、経済を支え、国民の生活を守ろうとする政策意思が表れており相応に評価できると受け止めています。特に家賃支援給付金の新設や、医療・介護施設への緊急包括支援金の拡充、地方創生臨時交付金の拡充などは、現場の実情や要望を踏まえた対策となっています。

一方でこれを受け、今年度の一般会計歳入歳出予算総額は、当初の102兆円から160兆円を超える規模となりました。新規の国債発行額は過去最大（リーマン・ショック後の51.9兆円）を更新し、90.2兆円に膨らむこととなります。歳入に占める国債の比率は56.3%に達します。もちろん、目の前の国難を乗り切るためには大規模な対応が求められますが、同時に中長期的に持続可能な財政運営が求められます。

「国家財政の見える化」委員会としても、コロナ後の財政運営・経済の健全化を見据え、今後も議論してまいります。

生団連では1日、「緊急事態宣言の延長 ～強力な追加経済対策と経済活動平常化に向けた取り組みの強化を」と政府宛に要望してきましたが、4月30日成立の第1次補正予算に続けての大規模な措置は、経済を支え、国民の生活を守ろうとする政策意思が表れており相応に評価できると受け止めています。これらの対策の実行のスピードアップを期待するところです。

| 項目                   | 財政支出              | 事業規模         |
|----------------------|-------------------|--------------|
| 1. 雇用調整助成金の拡充等       | <b>4,519 億円</b>   | 4,519 億円     |
| 2. 資金繰り対応の強化         | <b>116,390 億円</b> | 116,390 億円   |
| 政府系金融機関からの財政投融資      | 394,258 億円        | 394,258 億円   |
| 民間が拠出する資金            |                   | 446,000 億円   |
| 3. 家賃支援給付金の創出        | <b>20,242 億円</b>  | 20,242 億円    |
| 4. 医療提供体制等の強化        | <b>29,892 億円</b>  | 29,892 億円    |
| 5. その他の支援            | <b>47,127 億円</b>  | 47,127 億円    |
| 6. 新型コロナウイルス感染症対策予備費 | <b>100,000 億円</b> | 100,000 億円   |
| 合計 ※その他項目を含む概算       | 726,000 億円        | 1,171,000 億円 |
| うち、いわゆる真水部分（太字）の合計   | <b>332,000 億円</b> | —            |

※財務省データ・各紙報道もとに生団連作成、一部推定金額記載

特に、下記の点においては現場の実情や要望を踏まえた対策となっており、一定の安心感を得ることができると考えております。

- **真水部分で 33.2 兆円という財政支出の規模感**
- **2 兆円の家賃支援給付金の新設**
- **2.2 兆円の医療・介護施設への緊急包括支援金の拡充**（1次補正では 1,490 億円）
- **2 兆円の地方創生臨時交付金の拡充**（1次補正では 1 兆円）
- **今後の事態に迅速に対応するための 10 兆円の予備費の確保**（1次補正では 1.5 兆円）

以 上